

はじめに..... 1

雑草名ざくじん..... 4

厄介な多年生雑草 地下組織の たくらみを暴け！

これがオレたち、多年生雑草の生き方と..... 6

農道の法面 イタドリ、ヨシ、フキ..... 8

巨大化して排水路に覆い被さる 難波義夫.....

野菜畑 エゾノギシギシ、ヤマワサビ、コンフリー.....

ロータリで細断してもゾンビのように蘇る

安田貴史..... 10

畑周り クズ 貯蔵根を「根絶」するには？ 西山宏治..... 12

多年生雑草の本体見たり！

根っこ探検隊がゆく（伊藤操子先生ほか）..... 14

多年生雑草 地下部まるわかり図鑑..... 28

【カコミ】 厄介なコウブシはサツマイモ緑肥で抑える（若梅健司さん）..... 36

【カコミ】 バックホーの爪アタッチメントで効率的に除去..... 73

（橋本桂一さん）

オオバナミズキンバイ..... 75

水草だけど、水陸両生 稗田真也.....

アゼ・法面は覆っちゃえ

雑草抑制ネットで草刈り無用のむらづくり 酒井義広..... 76

【カコミ】 廃材リサイクルでアゼ被覆（大久保義宣さん）..... 78

「べた」とシート」でセンチピードグラスが..... 79

スピード生育 衣笠愛之.....

冬シバ ハードフェスクでラクラク法面管理 福見尚哉..... 81

ことば解説..... 83

厄介な一年生雑草

ゴウシユウアリタンウ..... 86

アージランで打ち勝った 野中正博.....

アレチウリ 夏前の共同草刈り、晩秋までの..... 88

抜き取りが確実 倉科秀光.....

【カコミ】 除草剤を泡状塗布できる狙い撃ちノズル 梁瀬俊之..... 92

オヒシバ 話題の枯れないオヒシバに立ち向かう..... 95

グリホサート抵抗性のオヒシバ.....

中干し時期のザクサで抑える 中島裕也..... 97

【カコミ】 グリホサート抵抗性ネズミミギに効く除草剤は？..... 99

【カコミ】 ダイス畑の厄介な雑草..... 100

ツルクサを晩播狭畦栽培と除草剤で抑える 工藤忠之.....

多年生雑草の叩き方

刈り払い&除草剤のベストタイミングは？..... 38

スギナ..... 44

休耕田のスギナ 確実な叩き方 浅井元朗.....

【カコミ】 クロレートSの秋処理をやってみた..... 48

除草剤に尿素を混ぜると見事に枯れる（山崎英さん）..... 49

クズなどのつる植物..... 50

クズ大問題 まるでグリーンモンスター（越智和彦さんほか）.....

林業でのつる植物とのたたかい方 横井秀一..... 60

刈り払い機の刃、曲げればつるが絡まない 千田典文..... 65

【カコミ】 クスにも負けず育つ 耕作放棄地には八升豆 川添純雄..... 66

その他の難防除雑草

キシユウスズメノヒエ..... 68

モミガラ燃焼&冬期湛水が効く 中道唯幸.....

ナガエツルノゲイトウ&オオフサモ..... 72

田んぼ周りを脅かす2種の特定外来生物 嶺田拓也.....

田畑の雑草 防除事典

雑草を知る、かしく叩く..... 104

初期除草のための雑草事典 畑雑草編.....

初期除草のための雑草事典 水田雑草編..... 114

外来雑草はどこからやってきた？ どう防除する？..... 120

黒川俊一.....

飼料畑の外来雑草 その生態と上手な叩き方..... 126

佐藤節郎.....

除草剤を使いこなす

畑の土壌処理剤・水田の一発処理剤 上手な使い方..... 132

村岡哲郎.....

ちょっとだけ 茎葉処理剤の話..... 137

畑の除草剤 よくある失敗とワンポイントアドバイス..... 139

小林国夫.....

除草剤のRACコードによる分類一覧..... 142

初出一覧..... 143

*執筆者・取材先の情報（肩書、所属、活動など）は「現代農業」掲載時のもの（敬称略）

*本書に記載した除草剤の適用、H R A Cコード（）などのマークは2024年6月時点のもの



今年是水田作

草刈りがおっつかなくて、
どうしても多年生雑草が
大きくなっちゃいます。
虫の温床になったりする
んですよね



小畑竜三さん
今回の調査地を管理する大規模農家。イネ約40haの他、ソバ
やオオムギなどを栽培

調査地（福井県大野市）の巨大な畦畔。草刈りが大変なうえ、ブロックローテーションを採用しているため、上の圃場が3年に1度転作している間は「水田畦畔」登録の除草剤が使えない

ぜひ掘りに行きましょう！ こうして
2021年4月末、あいにくの雨模様
の日だったが、多年生雑草の「根っこ
探検隊」出動！ とあいになった。メン
バーは、誰よりもシャキシャキ動く伊
藤先生、今回の調査地、福井県で活躍
する雑草インストラクターの豊田さ
ん、そして多年生雑草に困っている現
地の農家、辻さん夫妻と編集部。まず
は、小高い丘の大きな畦畔から探検開
始。

根っこ探検隊、結成!!



愛用の根っこ掘りヘラ

- 辻 勝弘さん**
現地の稲作・直売野菜農家。ハウスに生えるヨモギやスギナ、ヒルガオなどの多年生雑草に困っている
- 伊藤操子先生**
1941年生まれ。京都大学名誉教授。NPO法人緑地雑草科学研究所理事。多年生雑草の専門家
- 豊田吉之さん**
緑地雑草科学研究所認定の雑草インストラクター。福井県の中山間地などの雑草管理などに携わる

(依田賢吾撮影、以下表記がないものすべて)

NPO法人緑地雑草科学研究所・伊藤操子先生ほか

多年生雑草の本体見たり！
根っこ探検隊がゆく

2020年に発売され、好評につき
重版中の『多年生雑草対策ハンドブック』（農文協）は、副題に「叩くべき
本体は地下にある」と掲げている。著
者の伊藤操子先生曰く、「多年生雑草
の地上部、つまり私たちが見ている部
分は、莫大な量の地下部に比べると、
ほんの氷山の一角なんです」。
枯らしたはずが、刈り取ったはず
が、いつの間にか復活している……そ
んな多年生雑草のしぶとさの秘密が、
地下にあるというのだ。光合成でつ
くった栄養を地下部に蓄え、そこを栄
養繁殖器官として再生するのだとい
う。「せやから、地下部がどういう状
態かをイメージして、地下部を弱らせ
る、枯らすような対処をしないと、効
果は上がらないんです」。
なるほど。でも、地下部なんてイ
メージのしようがない。どうすれば
……。「やっぱり、実際に掘ってみる
のがいいと思います。農家の方たちと
根っこを掘って見てみると、皆さん
『こんなにすごいのか』って、とって
も驚きはりますよ」。
さすが現場主義の先生。それなら、

◆マークは 83 ページにことば解説あり

カラムシ (イラクサ科)



ジャンソン

あらわになったカラムシの地下部。樹のように太い根っこに一同驚愕



夏の同地点。カラムシの地上部に覆われ、畦畔管理がとても難しくなっている (写真提供：伊藤操子、『多年生雑草対策ハンドブック』より)



カラムシの株跡 (手前)。太い茎は、畦畔でひととき目立つ



慎重にね

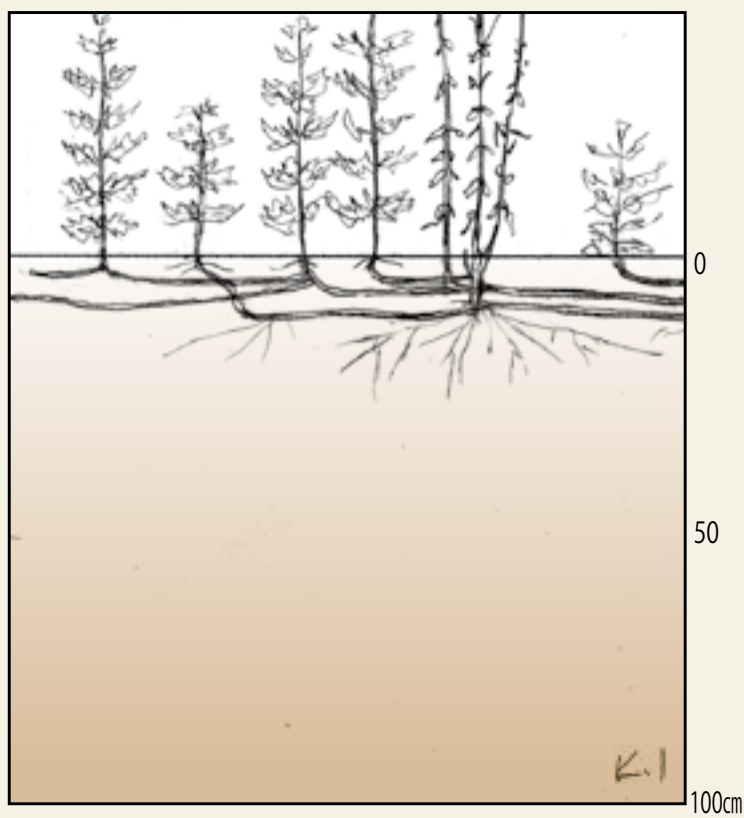
任せといて
ください!

ヤクツ
ヤクツ

掘り取り作業。鍬やスコップ、ブローワーなどを使って、根の周りの土を取り除く

さ っそく「ありました」と、伊藤先生が声を上げた。カラムシだ。かつては繊維を利用する工芸作物として、盛んに栽培された植物だが、現在は雑草として各地に拡散し、畦畔や鉄道や道路脇などに群生。夏場には地上部がゆうに2mを超え、土地管理の障害となっている。

昨年の切り株跡の周り1m×1mほどの範囲を、鍬などで丁寧に掘ることになった。根を傷付けずに掘るのは至難の業と思ったが、そこは経験者の豊田さんが率先。見る見るうちに土は除かれ、樹木のような地下部が姿を現わした――。



ヨモギ

キク科

分類：根茎系
繁殖：種子、根茎断片
分布：本州～沖縄
地上部生育期間：4～12月
開花・結実：8～10月

昔から薬用、食用、お灸などに利用されてきた草だが、高速道路や鉄道敷などで繁茂し問題になっている。刈り取りの少ない場所では草丈が2mを超える場合もある（下）

根茎の分布は極めて浅い。地上部を中心に放射状に発生・伸長し、8～11月に2次、3次分枝を発生させる。その後、それぞれの根茎先端が上向き出芽し、ロゼットを形成して越冬する

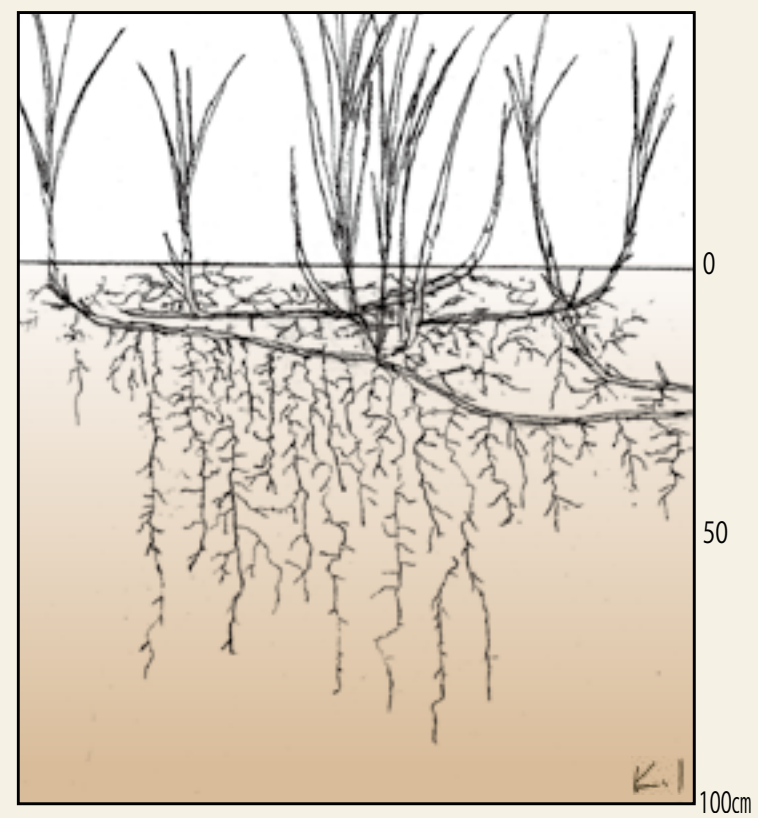
雑草こぼれ話 1

混乱を極める 多年生雑草の遺伝的背景

伊藤操子先生によると、移動や交雑などの影響により、多年生雑草の遺伝的背景は年々わかりにくくなってきているという。近畿で本来冬に枯れるはずのチガヤが越冬したり、1個体のクズが形の違う2種類の葉をつけた。ヨモギも多数の垂種に加え、法面緑化用に輸入した種子が混ざり合い、本来の姿がわかりにくくなっている種の一つだ。



2m以上に育ったヨモギ。刈り取らなければ巨大に育ち、ヨモギだと気付かれない場合も多い



チガヤ

イネ科

分類：◆根茎系
繁殖：種子、根茎断片
分布：本州～沖縄
地上部生育期間：4～11月
開花・結実：5～6月

頻繁に草刈りされる場所で優占化しやすい。果樹園などでは害を及ぼすが、草丈がそれほど高くないことから、法面の保護に利用されることもある（26ページも参照）



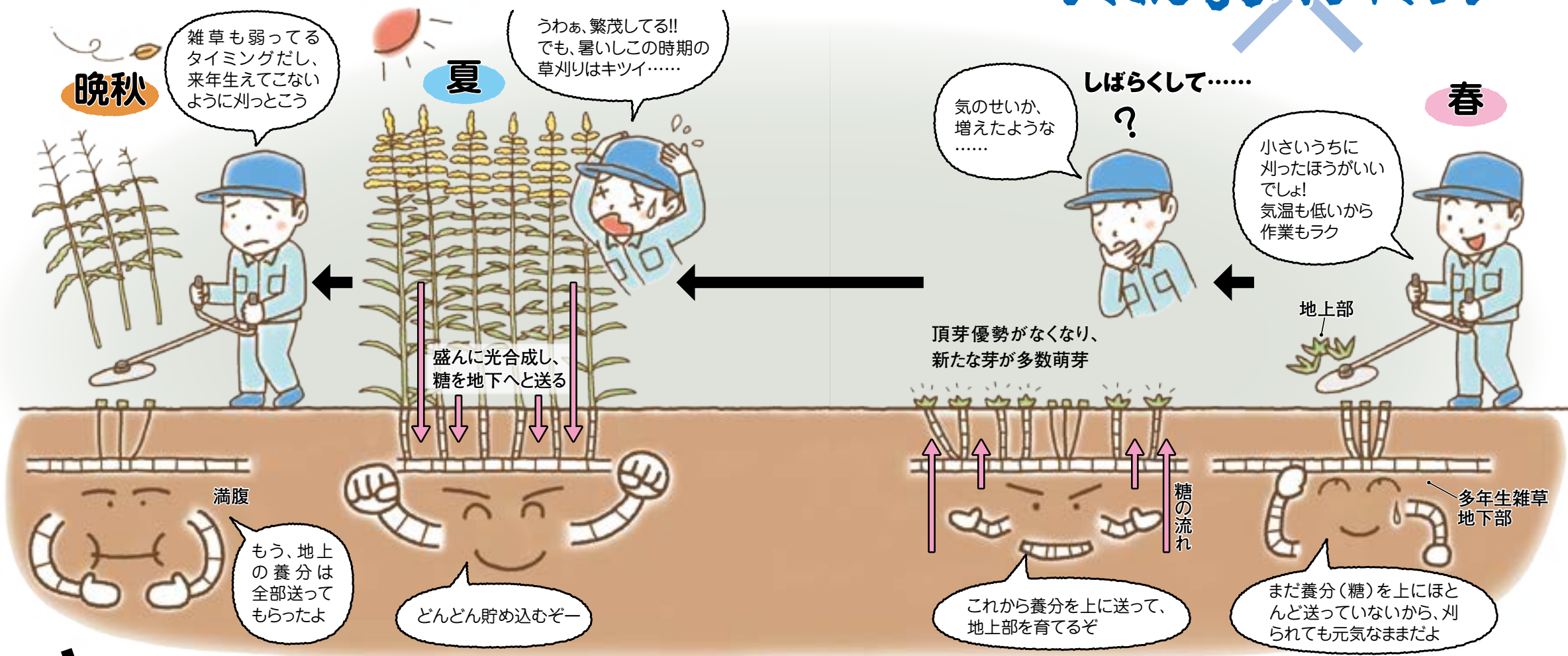
根茎の先端。鋭く、他の植物の根を突き抜けて伸びる（とくに断りがない限り、写真は伊藤操子提供、『多年生雑草対策ハンドブック』より）

◆マークは 83 ページにことば解説あり

『多年生雑草対策ハンドブック』では、掘り取り調査に基づく地下部の精緻なスケッチを多数収録している。ここでは、その一部を大公開。草種によって、地下部はこれだけ違う！
編
（地下部のスケッチはすべて伊藤幹二作画）

刈り払い＆除草剤のベストタイミングは？

よくあるダメなタイミング



(先端の芽の生長が優先されること)が失われて新芽が一斉に伸び、株が増える場合もある。

一方、晩秋の刈り払いでは、雑草は地上部の養分を越冬に向けて、地下部に送り込み終えている。地下部は翌春、その養分を使ってまた地上部を形成する……というわけだ。

早期の刈り払いはダメ

さて、多年生雑草の本丸が地下部であることはわかった。では、いったいどうすれば、ここに手痛い一発をくれてやれるのだろうか。

上は、2回草刈りでのダメな管理の例。伊藤操子先生によると、暑い時期の重労働を避けるため、このように涼しい時期に2回刈り払って管理しているケースは多いという。

まずは、春の刈り払い。一見、小さいうちに刈り払ったほうが効果は高そうだが、この時期はまだ、地下部にたっぷり貯まった養分が、地上部にほとんど送り込まれていない。地上部を刈っても、地下部の消耗は少ないのだ。それどころか、刈り払いで頂芽優勢

◆マークは 83 ページにことば解説あり